

第 104 号
2026年1月

広報 なんざん



新しい年の始まりに、地域とともに歩む医療を。
本年も南山病院は心に寄り添う医療を届けてまいります。



医療法人
陽和会

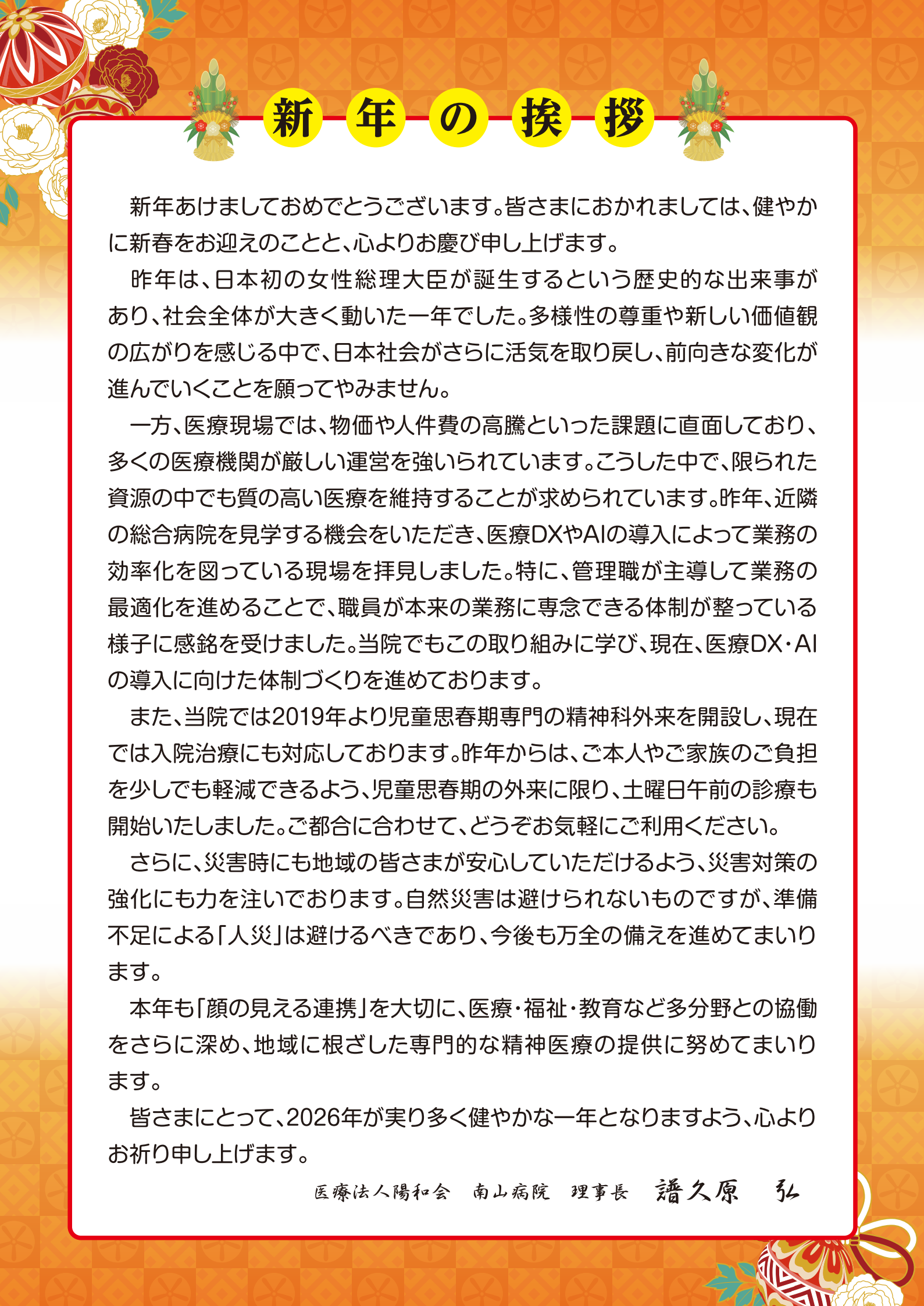
南山病院



基本理念 療養者の立場に立った医療

基本方針 ①チームワークが良く信頼される病院

②向上心を持ち良質の医療をめざす



新 年 の 挨 拶

新年あけましておめでとうございます。皆さまにおかれましては、健やかに新春をお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。

昨年は、日本初の女性総理大臣が誕生するという歴史的な出来事があり、社会全体が大きく動いた一年でした。多様性の尊重や新しい価値観の広がりを感じる中で、日本社会がさらに活気を取り戻し、前向きな変化が進んでいくことを願ってやみません。

一方、医療現場では、物価や人件費の高騰といった課題に直面しており、多くの医療機関が厳しい運営を強いられています。こうした中で、限られた資源の中でも質の高い医療を維持することが求められています。昨年、近隣の総合病院を見学する機会をいただき、医療DXやAIの導入によって業務の効率化を図っている現場を拝見しました。特に、管理職が主導して業務の最適化を進めることで、職員が本来の業務に専念できる体制が整っている様子に感銘を受けました。当院でもこの取り組みに学び、現在、医療DX・AIの導入に向けた体制づくりを進めております。

また、当院では2019年より児童思春期専門の精神科外来を開設し、現在では入院治療にも対応しております。昨年からは、ご本人やご家族のご負担を少しでも軽減できるよう、児童思春期の外来に限り、土曜日午前の診療も開始いたしました。ご都合に合わせて、どうぞお気軽にご利用ください。

さらに、災害時にも地域の皆さまが安心していただけるよう、災害対策の強化にも力を注いでおります。自然災害は避けられないものですが、準備不足による「人災」は避けるべきであり、今後も万全の備えを進めてまいります。

本年も「顔の見える連携」を大切に、医療・福祉・教育など多分野との協働をさらに深め、地域に根ざした専門的な精神医療の提供に努めてまいります。

皆さまにとって、2026年が実り多く健やかな一年となりますよう、心よりお祈り申し上げます。

医療法人陽和会 南山病院 理事長 譜久原 弘



第30回沖縄県支部精神科看護学術集会

沖 沖縄県支部精神科看護学術集会に参加しました。県内の精神科 20 施設から 10 題が発表され、各施設の特徴を知れたり、同じ悩みを共有する事が出来、良い刺激となりました。

学術集会主題として「精神科看護の未来を拓く」を掲げ、未来の精神科について学びました。今後もさらに少子高齢化が進む日本において精神科の未来は「入院中心」から「地域中心」への移行、高齢者や児童思春期といった新たな患者層への対応が求められています。また、医療人材の不足といった課題もあり、業務効率化や生産性の向上のため ICT・AI の活用が期待されています。

これからの精神科看護師は、従来の専門知識に加えて、新たな患者層への対応、地域社会との連携を深めつつ、テクノロジーを駆使して、個別化・切れ目のないケアの提供が求められている事を痛感しました。

副看護部長 山城 穂浪



未来の看護師と考える地域支援

こ のたび、沖縄看護専門学校にて非常勤講師を務め、多職種連携や精神科訪問看護の役割について講義を行いました。学生の皆さんから新鮮で柔軟な意見が多く寄せられ、講師としてだけでなく、一人の看護師としても多くの学びと気づきを得る機会となりました。精神障害のある方が地域で自分らしく生活するためには、医療のみならず生活全体を支える視点と、地域への理解を広げていく取り組みが重要だと考えています。今回、地域の看護師育成に関われたことは大きな喜びであり、今後も地域医療・看護の発展に貢献していきたいと考えています。また、学生の皆さまが国家試験に合格をして、同じ地域で働ける日を楽しみにしております。

外来 師長 小坪 宏光



市民講座で認知症を学ぶ

—“顔の見える連携”で地域とともに—



先 日開催された糸満市民講座では、当院医師が「認知症」をテーマに講話を行い、87 名の方にご参加いただきました。認知症の基礎知識や早期発見のポイント、地域で利用できる資源などについて解説しながら進行し、参加者からは「理解が深まった」「定期的に開催してほしい」との声が寄せられ、関心の高さがうかがえました。また、当事者家族による介護体験談も紹介され、日々の不安や向き合い方、家族を支える地域の力の大切さが語られました。

医療の視点と生活に寄り添う実体験が組み合わせられ、参加者にとって多角的に認知症を考える貴重な機会となったと思います。今回の市民講座は、当院が進める“顔の見える連携”の一環であり、地域と医療がつながる関係づくりを実践していく取り組みであるため、今後も継続して開催していきたいと思います。

デイケアセンター センター長 門脇 千尋



沖縄リハビリテーション福祉学院作業療法学科 学生見学会

11 月 27 日 (木)、沖縄リハビリテーション福祉学院作業療法学科の学生 20 名 (教員 2 名を含む) を対象とした病院見学会を開催しました。

今回の見学会は、学生の皆様に当院の取り組みを肌で感じていただき、精神科医療への興味・関心を深めてもらうことを目的として開催しました。

当日は病棟をはじめ、精神科デイケア、重度認知症デイケアをご案内し、各部門での支援内容や専門職の役割について紹介しました。見学後の座談会では、学生の皆様から多くの質問が寄せられ、活発な意見交換が行われました。

参加した学生からは「精神科のイメージが変わった」「作業療法士として働くイメージが具体的になった」などの声が聞かれ、有意義な時間となりました。

当院では、今後も教育機関との連携を深め、未来の医療・福祉を担う人材育成への協力を続けてまいります。

デイケアセンター センター長 仲村 翼



体育館見学♪



具体的なアプローチ説明



病院周辺を一望できる屋上見学♪



沢山お話できて有意義でした(^_^)



永年勤続表彰

受賞者の
言葉

去った、11月19日に永年勤続医療従事者（勤続20年）の表彰式があり参加させて頂きました。当院での表彰者は私を含めて4名いますが、代表して筆を取らせていただきます。

私が、南山病院に入職したのは、46歳の春です。サラリーマンを辞めて看護師を目指して看護専門学校の入学と同時に入職し、私の医療従事者としての第一歩が始まりました。山あり谷ありの20年でしたが、ここまで来られたのも理事長や先代の理事長を始め周りの方々のお陰だと感謝しています。これからも、凡事徹底の気持ちを忘れずに精進して参ります。ありがとうございました。

ゆり病棟 看護師 糸数 勤



令和7年度 日本DPAT研修



10月3.4日、2日間かけて福岡県で開催された日本DPAT（災害派遣精神医療チーム）研修に、当院から精神保健指定医・看護師・業務調整員の3名が参加し、正式に日本DPAT隊員として登録されました。

日本DPATは発災から概ね48時間以内に被災地に入り、精神科医療および精神保健活動の支援を行う専門チームです。近年、災害医療の重要性が指摘され、新興感染症を含めた災害医療活動の充実が謳われており、当院も沖縄県内はもちろん全国の大規模災害時に備え、要請があれば速やかに活動できるよう準備をしています。

いつ大規模災害が起こるかはわかりません。災害時に頼られる病院を目指して日本DPAT隊員として活動していきたいと思います。

でいご病棟 師長 呉屋 樹



全国から隊員が集合し臨場感がありました。



先遣隊メンバーです！



ゆり病棟クリスマス会



先

日、1年を締めくくるイベントとしてクリスマス会が行なわれました。1年の出来事を振り返るスライド写真では、楽しかったドライブの写真を見て笑顔になる方や自分が写真に写っていないか前のめりで探す方など表情は様々でした。豪華賞品が当たるビンゴゲームでは、皆白熱した様子でビンゴの数字に注目し当たると力強く【ビンゴ!!】と威勢の良い声をあげていました。その後はクリスマス仕様のケーキタイム・カラオケ大会と最後まで盛り沢山のプログラムで終始笑顔が絶えず、患者さん・スタッフ共に心に残るクリスマス会となりました。来年も患者さんの心に残るイベントを提供できるようにスタッフ一同力を合わせたいと思います。

ゆり病棟 作業療法士 大城 雅之



禁煙から得られるメリット



新

入職員研修を通して、禁煙には大きなメリットがある事を学びました。例えば、身体的な面では、脳卒中等の発症リスクや、免疫力の低下を防ぐ事も期待できます。また、生活面においても、タバコ代の節約により、貯金などへ充てるお金が増えます。さらに、受動喫煙のリスクを防ぐことに加え、周囲にタバコ特有の匂いが残らなくなる為、清潔感も高まります。以上のように、多くのメリットがあることから、私自身も禁煙の良さを周囲へ伝えていきたいです。

みのり病棟 看護補助者 亀浜 せな

編集／発行

医療法人陽和会 南山病院 TEL.098-994-3660

〒901-0313 沖縄県糸満市字賀数 406 番地の 1 FAX.098-994-2598

E-mail info@nanzan.or.jp URL http://www.nanzan.or.jp/

附属施設

精神科 デイケア・デイナイトケア・ナイトケア パルク

重度認知症デイケア きらら・きらら2

訪問看護ステーション ひまわり

相談支援センター(特定・児童) なんざん

グループホーム レンメル／グループホーム やすらぎの里

就労継続支援B型 ワークライフサポート南山

南部地区障害者就業・生活支援センター/就労選択支援 ブリッジ



QRコード

◎この内容はインターネット (http://www.nanzan.or.jp/) でも公開しております。

南山病院

検索

※本誌はUDフォントを使用しております。

